

第2回 松波総合病院 がんセミナーを開催しました



プログラム

- 1 研修報告 「ホーステラピー研修報告」
まつなみ訪問看護士 杉原 正成
- 2 特別講演 「ホーステラピーの取り組みと社会との関わり」～馬がいるからできること～
東京農業大学 農学部/バイオセラピー学科 動物介在療法研究室 准教授 川嶋 舟先生
- 3 理事長報告 「馬介在地域活性化着想研究会」設立について
社会医療法人蘇西厚生会 理事長 松波 英寿

平成29年2月13日(月)、笠松中央公民館において「馬による地域活性化を考える」と題した講演会を開催いたしました。当日は本件関係者を含め、300名以上の方にご来場いただき、大変盛況のうちに会を終了することができました。お忙しい中ご参加いただきありがとうございます。

当日は、東京...先生をお招きし、動物介在療法の概要、活動目的、期待される効果などについて講演いただきました。ホースセラピーに期待される効果として、身体的効果、心理的効果、社会的効果の改善が「マインナー(自信・誇り)の回復に繋がること、また、そのことが社会生活で困難を抱える方々に対して「生きる」きっかけ(自己回復力)を与え、治療場所から社会と関わる場所へと変化し、結果的に生きやすい社会の構築に結びつくことを教えていただきました。

また、ご講演の後には、当会理事長 松波英寿より、本件立ち上げに至った経緯について説明があり、様々な障がいのある方に対してホースセラピーが期待できることを紹介した後、今回の講演会をきっかけに、一人でも多くの方にホースセラピーを知っていただき、様々な障がいのある方への治療回復に繋げていきたい、そのためにも馬の町である笠松町全体で機運を盛り上げ、地域の活性化を図っていきたくていきたいと思います。今後の活動に理解と協力を求めました。今後の活動については随時ご報告をいたします。

「馬による地域活性化を考える」講演会を開催しました!!



[発行] 社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院

Monthly Magazine Matsunami!

Matsunami Information

NEWS

中部管区広域緊急援助隊合同訓練に当院DMAT隊が参加しました。
平成29年2月2日(木)「平成29年度中部管区広域緊急援助隊合同訓練」が岐阜県羽島郡笠松町無動寺堤外 笠松町勤労青少年運動場にて行われ、当院のDMAT隊が参加しました。
今回の訓練は、消防・警察などの各機関から600名以上が参加し、実際の熊本地震での被災現場などを再現し負傷者の救助訓練、災害現場での負傷者の応急処置訓練が行われました。当院DMAT隊の、隊長率いる部隊は、救護所でトリアージ及び患者の安定化を行い、先日認定された、ロジスティックチームはDMAT本部運営。双方の連携を確認しつつ訓練に参加致しました。
今後も訓練等で研鑽を積み、災害が起きた時にスムーズな対応ができるよう日々邁進していきます。

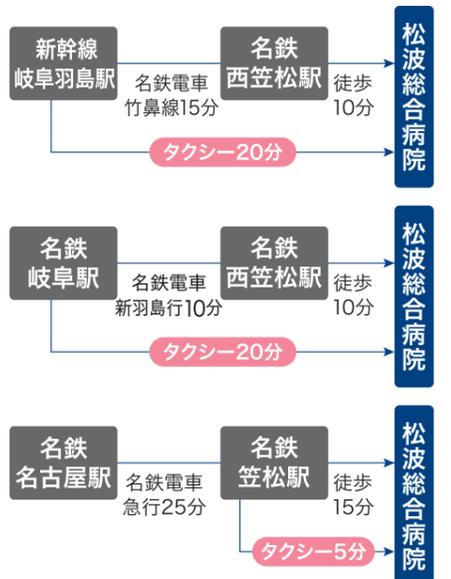


平成29年2月3日(金)「第18回岐阜南NST研究会」が松波総合病院 MGHホールにて開催されました。

講師に公立能登総合病院歯科口腔外科・金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 顎顔面口腔外科学分野 長谷剛志先生をお招きし「地域で繋ぐ高齢者の「食支援」～他施設・他職種で考える包括的戦略とは～」について講演して頂きました。
生活という字は、両方とも「いきる」と書きます。「生きる」は生きている寿命、「活きる」はアクティブに活きる健康寿命のように読めるのではないかと胃瘻で栄養を摂取している時は、ただ生きているだけのような雰囲気だったが口でご飯を食べることで、笑顔がでるようになり写真を撮るときに髪型まで気にするようになった患者さんの紹介などされました。いかに、口からの食事が大切なかを知る機会となりました。



交通のご案内



注目 Facebook

「節分大会」が開催されました。

平成29年2月2日(木)、松波総合病院南館6階にて「節分大会」が行われました。スタッフが鬼に扮し、入院中の患者さんが新聞紙を丸めて豆に見立て、鬼に投げました。
今回の豆まきのように、楽しいハビリを目指します。
※威圧感と紙が貼ってあるスタッフの写真は、福の神です。(^_^;) 当院の豆まきは、鬼だけでなく福の神も来てくれます。



講演会・セミナーのお知らせ

糖尿病教室 -入門編-

内容 糖尿病とは 松波総合病院 内科 角田 千尋
糖尿病と睡眠 ~より良い睡眠を得るための睡眠薬の使い方~ 松波総合病院 薬剤師
日時 平成29年3月11日(土) 14時00分~16時00分
場所 松波総合病院 南館 1階 MGHホール

どなたでも自由にお越し下さい。

糖尿病教室主催 調理実習会

内容 みんなで作ろう!ボリューム満点 トマトカレー
日時 平成29年4月16日(日) 9時45分 受付
場所 柳津もえぎの里 2階調理室(柳津町下佐波西1丁目15番地)
参加費 500円 持ち物 エプロン、三角巾、筆記用具

糖尿病教室主催 調理実習会を下記の日程にて開催いたします。
糖尿病の食事について、実際に調理をしながら学びませんか?

*対象は糖尿病患者様とそのご家族(1名様まで)です。
注)お子様の参加はご遠慮下さい。
*参加をご希望の方は、申し込み用紙をご記入の上、参加費と共にクリニック受付までお持ち下さい。
先着20名になり次第締め切りますので、お早めにお申し込み下さい。
定員になり次第締め切りとさせていただきます。

第108回すこやかネットワーク

内容 一般診療でよくみる不整脈について 場所 松波総合病院 南館 1階 MGHホール
日時 平成29年3月15日(水) 19時00分~20時00分 講師 松波総合病院 循環器内科副部長 北村 倫也

社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院

〒501-6062
岐阜県羽島郡笠松町田代185-1
TEL 058-388-0111(代)
FAX 058-388-4711
http://www.matsunami-hsp.or.jp/



第2回 松波総合病院 がんセミナーを開催しました



2012年に策定された「がん対策推進基本計画」では、「5年以内に受診率50%（胃、肺、大腸は当面40%）」が掲げられました。がん研究センターの「全国がん登録」によると岐阜県では胃がん11.0%、大腸がん19.0%、肺がん18.6%、乳房27.7%、子宮頸がん25.8%となっています。（2012年データ）そこで、がんを単に怖がるのではなく、正しく知って検診を受けてもらいたいと考え、昨年5月のイオンモール木曾川に引き続き第2回の「松波がんセミナー」をイオンモール各務原で開催しました。

がん検診は市町村や病院だけではなく、かかりつけの診療所でも受けられる場合があります。診察をされる際には検診内容についてもお問い合わせいただき、がん検診率向上に向けて、一緒に取り組んでいきましょう。

プログラム	
喫煙セミナー	タバコのお話 ～禁煙外来はこんなこと～ 松波総合病院 保健師 北山 梨恵
がんと就労	ピアサポーター 山下 美美子さん
乳がんセミナー	乳がんと生活習慣と検診 ～それから少し治療のこと～ 松波総合病院 乳腺外科部長 花立 史香
若い世代のがん体験	ピアサポーター 古谷浩さん
大腸がんセミナー	大腸癌と検診 松波総合病院 外科副部長 廣川 高久



がん検診の大切さを訴えるスタッフら。各務原市那加富町のイオンモール各務原で

がん検診有効性知って 各務原で医師ら呼び掛け

がんの早期発見につながる検診の大切さを訴える「がんセミナー」が十八日、各務原市那加富町のイオンモール各務原であった。

等松町の松波総合病院が、がん検診の有効性を知ってもらおうと開催。小林建司副院長（左）によると、タレントの北斗晶さんが乳がんを公表したり、俳優ズラリなどを用意。大腸がんのコーナーで

この日は、乳がん、肺がん、大腸がんについてパネルなどで紹介した。会場には、しこりを確認できる模擬乳房や、大腸がんのクイズラリーなどを用意。大腸がんのコーナーで

小林副院長は「検診で見つかるがんは、自覚症状があつてから見つかるがんでは進行度がまるで違う。まずは一度検診を受けてほしい」と呼び掛けた。（宇佐美尚）

がんで五十四歳で亡くなったという話を、がん検診の大切さを訴える「がんセミナー」が十八日、各務原市那加富町のイオンモール各務原であった。小林副院長は「検診で見つかるがんは、自覚症状があつてから見つかるがんでは進行度がまるで違う。まずは一度検診を受けてほしい」と呼び掛けた。

大腸がん



外科副部長 廣川 高久

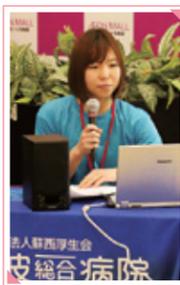
大腸癌は2番目に多いがんです。ただ、早期発見することで治すことができるがんもあります。早期の大腸癌は症状がありません。症状がない段階で発見するには、検診を受けることが大切です。検診は便潜血反応で行われ、偽陽性、偽陰性となることもあり毎年検診を受けることが重要となります。早期発見ができれば、内視鏡治療や腹腔鏡治療など、体への負担が少ない治療が可能となります。進行癌となっても大腸癌は多くの抗がん剤があり治療を続けることで、長生きできる病気でもあります。みなさん検診を受けましょう。

ブースでの様子

大腸がんクイズラリーでは、5つの質問に挑戦して頂きました。また、人体模型の「KARADA」を使用し、食べ物などがどのように体内で消化されるのかをわかりやすく説明しました。



肺がん



保健師 北山 梨恵

喫煙が体に及ぼす影響は、肺がんだけでなくCOPDや皮膚や歯、眼にも影響を及ぼします。しかし喫煙者はこれらのことを知っていないが、タバコを吸っている人がほとんどです。やめられない原因にはニコチンの身体的影響や心理的影響があります。禁煙を成功させるためには離脱症状を理解し、喫煙に変わる代替行動をすることが重要になります。ぜひこの機会に、禁煙外来や薬を使用して禁煙にチャレンジしてみたいかがでしょうか。

ブースでの様子

一日に何本たばこを吸うのか？喫煙について保健師より質問に答えて頂き喫煙をすることで肺がんリスクなどをお話ししました。又、喫煙することで周りの人にも健康被害があることなどをお伝えしました。



乳がん



乳腺外科部長 花立 史香

乳癌と生活習慣・検診・治療（主に手術）についての講演でした。生活習慣との関連については妊娠、授乳、運動、大豆食品などがリスクを下げ、アルコール等がリスクをあげる例として話されました。また、検診の具体的な内容（マンモグラフィ）、検診が早期の乳癌を見つけることが可能であることをやを当院の乳癌患者さんの具体的な実績を示して話されました。治療については手術を中心にその適応、方法について解説いただきました。

ブースでの様子

乳がんのしこりがわかる模型やエコーを展示し、来場された方に体験して頂きました。

